

# カトリック河原町教会だより

## 2025年3・4月

教皇フランシスコ 2025年四旬節教皇メッセージ(抜粋) 希望をもってともに歩んでいきましょう  
親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

母であり教師である教会は、神の恵みに心を開くようわたしたちを招いています。罪と死に打ち勝った主キリストの復活の勝利を、大きな喜びをもって祝えるようになるためです。聖年の恵みにあずかる中でのこの四旬節に、「希望をもってともに歩む」ことの意味について、また、いつくしみをもって神がわたしたち皆に——個人としても共同体としても——呼びかけておられる回心の招きについて、少し考えてみたいと思います。

初めは、「歩む」についてです。わたしたちのだれもが旅する者なのですから、だれもが自らに問わなければなりません。——こうした現状に自分は問いただされているだろうか。道を進んでいるのか、それとも恐れや絶望から硬直して動けなくなっているのか、楽な場所から抜け出せなくなっているのではないだろうか。罪を犯したり自らの尊厳を貶めたりする状況から離れる道を探しているだろうか——。神がわたしたちに何を求めているかを見いだすことは、四旬節のよい鍛錬となるでしょう。

第二は、「ともに」歩むについてです。ともに歩む、シノドス的であること、これが教会の使命です。キリスト者は決して孤高の旅人ではなく、ともに旅するよう呼ばれています。聖霊は、自分自身から出て神と兄弟姉妹に向かうよう、決して自分自身を閉じないよう、突き動かしておられます。ともに歩むということは、神の子としてともに有する尊厳を基盤とした一致の作り手となるということを意味します。愛と忍耐をもって互いに耳を傾け合いながら、同じ方向に向かって、同じゴールを目指して、歩んでゆきましょう。

第三は、約束に対する「希望をもって」ともに歩むについてです。希望は欺かない(ローマ 5・5 参照)——、この聖年の中心メッセージが、復活の勝利へ向けた四旬節の歩みの展望となりますように。わたしたちの愛であり希望であるキリストは復活し、栄光のうちに、生きて、治めておられます。死は勝利となり、キリスト者の信仰と大いなる希望は、キリストの復活にあるのです。

自らに問いましょ。主はわたしの罪をゆるしてくださいと確信しているだろうか。それとも、自分を救えるかのように振る舞っているのではないだろうか。救いを切望し、それを求めて神の助けを祈っているだろうか。姉妹の皆さん、兄弟の皆さん、イエス・キリストにおいて示される神の愛によって、わたしたちは欺くことのない希望(ローマ 5・5 参照)のうちに置かれています。希望は「魂にとって頼りになる、安定したいかり」です。その希望のうちに教会は、「すべての人々が救われるよう」(一テモテ 2・4) 祈り、天の栄光の中で花婿キリストと一つに結ばれることを待ち望みます。アヴィラの聖テレジアの祈りはこうです。「希望しなさい、希望するのです。あなたはその日、その時を知らないのです。よくよく目を覚ましていなさい。あなたが確かなことを疑い、短い時を長く感じている間に、すべては矢のように過ぎ去るからです。」(『神への叫び』15・3)。  
希望の母であるおとめマリアが、私たちのために執り成し、四旬節の歩みをともに歩んでくださいますように。



## 復活の喜びに生きる



シスターテッシー

復活祭は、私たちの教会の祈りと礼拝の生活の中で最も素晴らしい祭日です。この祝祭において、私たちは再び神の愛の臨在の中心にいるのです。復活祭は、永遠のいのちと幸福を主が約束してくださるのです。イースターは、この世に喜びが訪れることを祝うものです。「神はそのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された」。墓場からよみがえられたキリスト・イエスのうちに啓示された、私たちに対する神の愛を信仰の目で見える機会なのです。聖アウグスティヌスや他の人々は、「私たちは復活祭の民であり、アレルヤは私たちの歌である」と私たちに思い起こさせます。キリスト者の喜びは、人生の苦しみや悲劇を自覚しているが、人間にもたらされ、復活祭に確認された救いの約束も同じように自覚しています。この命と喜びの精神は、人の内側から放たれるのです。信仰は私たちの喜びの源です。私たちのイースター信仰の偉大な神秘は、キリストが死なれ、復活され、キリストが再び来られるということです。この喜びの祝いに参加するとき、私たちはイエスの復活が私たちに希望を与えてくださることを認めます。罪と死に対するイエスの勝利は、私たちに新たな決意を与えてくれます。

私たちは、再び希望を抱く理由を求める私たちの世界に、イエスの復活がもたらす希望を証ししなければなりません。私たちの困難、弱さ、恐れの中で、神はイエスを私たちの希望として遣わしてくださるのです。私たちは、イエスの復活によって私たちに与えられたこの神聖ないのちを、日々新たにしなければなりません。このイースターの卵は、復活が洗礼を受けたすべての人とキリストを信じて死ぬ人にもたらす新しいいのちの象徴です。イースターは私たちに、死んで再びよみがえる希望、倒れて再びよみがえる希望、人生の新たな章を開く希望、そして物理的な世界を超えたところに人生があるという希望を与えてくれます。私たちは日々の生活の中で、どのようにイエスの復活の力を証しするのでしょうか。私たちは皆、このイースターの喜びによって変容するよう求められているのです。イエスの復活において、私たちは善が悪に勝利し、私たちの人生を通して輝く光の中で、すべての被造物が新しくされるのを見るのです。私たちは日々、復活したキリストの力に心を開かなければなりません。イエスの人生は、私たちにとって、自己を与え、自己犠牲を払うことの模範とならなければなりません。このイースターの季節が、キリストとともにいのちの新しさのうちによみがえり、私たちに喜びと希望をもたらしてくれますように。



## 河原町教会トピックス

### 花井拓夫神父様司祭叙階 60 周年、瀧野正三郎神父様司祭叙階 50 周年感謝ミサ

3月20日 10:00 から大塚司教様、北村神父様、瀧野神父様、多数の神父様の司式により花井神父様叙階 60 周年、瀧野神父様叙階 50 周年感謝ミサが盛大に執り行われ、ミサ後にはヴィリオンホールにて多くの参加者に囲まれ、和やかな雰囲気の中、祝賀パーティーが開かれました。



感謝ミサ



式後の祝賀パーティー



**洗礼  
志願式  
ミサの  
様子** 3月9日 10:30 のミサ中に菅原神父様司式により洗礼志願式が執り行われました。皆さま志願者のためにお祈り下さい。



集合写真

### 召命祈願ミサの様子

灰の水曜日ミサ



3月28日 14時から召命祈願ミサ(山田神学生:朗読奉仕者選任式)が執り行われました。山田神学生のためにお祈りください。



### 四旬節黙想会

灰の作成



3月16日 9時からナン神父様ご指導のもと四旬節黙想会が行われました。講話は分かりやすいイラストを入れたパワーポイントをもとに語られました。講話のあと、ゆるしの秘跡、引き続きミサの司式を担当して頂き、感謝のうちに終了しました。



2025年4月～6月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
4	6	日	[四旬節第5主日]
	13	日	受難の主日(枝の主日)(聖週間)
	16	水	聖香油ミサ 11:00
	17	木	聖木曜日(主の晩さん) 19:00 洗足式あり
	18	金	聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎) 19:00 聖地の献金
	19	土	聖土曜日/復活徹夜祭ミサ 19:00
	20	日	復活の主日ミサ 7:00・10:30・14:00(英語) 10:30 ミサ後お茶サービス
5	27	日	[復活節第2主日](神のいつくしみの主日) 子ども初聖体 10:30 ミサ中
	4	日	[復活節第3主日]
	11	日	[復活節第4主日] 世界召命祈願の日
	18	日	[復活節第5主日]
6	25	日	[復活節第6主日] 世界広報の日(献金)
	1	日	主の昇天(復活節第7週) 京都南部地区合同堅信式 14:00
6	8	日	聖霊降臨の主日 チェジュ京都教区交流20周年感謝ミサ 10:30
	15	日	三位一体の主日(年間第11週)
	22	日	キリストの聖体(年間第12週)
	25	水	司牧者の祝祭ミサ 10:00
	27	金	イエスのみ心
	29	日	聖ペトロ 聖パウロ使徒 聖ペトロ使徒座への献金

## 主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30  
日曜日 7:00、10:30、  
12:00(英語/第2第4のみ)

## 週日ミサの時間

水曜日 9:30  
金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

## 講座の時間

司祭人事異動につき未定  
決まり次第次号にて掲載予定



2025年度の司祭・  
司牧者の人事異動が発  
表されました。

4月21日付で瀧野神父  
様は京丹ブロックへ、  
菅原神父様は山城ブロ  
ックへ異動されます。



カトリック河原町教会だより 2025.3・4 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>